

公益財団法人 仁科記念財団  
令和元年度（2019年度）事業報告書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第4条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成である。

令和元年度（2019年度）は、以下の公益目的事業を行った。

1. 仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味での原子物理学およびその応用に関して顕著な業績をあげた比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の昭和30年（1955年）以来、毎年数名の将来性豊かな研究者に授与されてきた。これまでの受賞者の総数は191名（本年度は岩佐義宏氏、および吉田滋氏と石原安野氏の2件3名）となり、その中からは国内外で著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者6名（江崎玲於奈氏：1959年仁科記念賞受賞、小林誠氏、益川敏英氏：1979年、小柴昌俊氏：1987年、中村修二氏：1996年、梶田隆章氏：1999年）、文化勲章受章者13名、文化功労者19名、恩賜賞受賞者9名、日本学士院賞受賞者30名となっている。

仁科記念賞規程では、①6月1日から8月31日の3ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、日本化学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し②授賞件数は3件以内③選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と1件当たり50万円の副賞を授ける④選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表⑤授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の12月6日に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で行うこととしている。

本年度第65回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他13名）は、今年度推薦のあった21件の候補について慎重に審議した結果、前掲の2件（3名）に授与することとした。この結果は令和元年10月21日に開催された第30回理事会において承認され、11月7日に日本アイソトープ協会会議室において新聞発表を行った。授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の12月6日に東京會館（千代田区丸の内）にて執り行われた。また、受賞記事は、当財団ホームページに加えて、Association of Asia Pacific Physical Societies（AAPPS）のBulletinにも公開された。

・受賞者：岩佐義宏（東京大学大学院工学系研究科 教授）

- ・業績題目：電界誘起 2 次元超伝導の発見
- ・受賞者：吉田滋（千葉大学大学院理学研究院 教授）  
石原安野（千葉大学グローバルプロミネント研究基幹／大学院融合理工学府 教授）
- ・業績題目：超高エネルギー宇宙ニュートリノの発見

## 2. 仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に原子物理学の真髄を啓発するため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

本年度は、以下のように第 65 回定例仁科記念講演会が開催された。

日 時：令和元年 12 月 6 日（金）15:00～17:15

場 所：東京大学理学部 4 号館 1220 室

主 催：仁科記念財団

共 催：東京大学大学院理学系研究科物理学専攻

後 援：日本アイソトープ協会

（プログラム）

挨拶：小林 誠 仁科記念財団理事長

山本 智 東京大学理学系研究科物理学専攻長

講演：「量子ビットの幾何学から重力へ」

高柳 匡（京都大学基礎物理学研究所教授）

講演：「重力の条件」

大栗 博司（東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構長、カリフォルニア工科大学フレッド・カブリ冠教授）

参加者：約 180 名

リニューアルした財団ホームページで講演の「動画」を公開。

## 3. 仁科記念室

### (1) 資料の提供

- ・財団事務室の古いキャビネット内で見つかった未公開の「横山資料」（仁科先生の秘書、故横山スミ氏が保管していた書簡 1528 点：『往復書簡集』1 巻～3 巻の 1428 点を超える）の一部を参考資料として、伊藤憲二総研大准教授が「窮理」第 14 号に「仁科芳雄と日独青年物理学者たち（一）朝永振一郎と親方の温情」を発表した。この「横山資料」は、他の歴史的資料とともに理研に寄付され整理・保存されている。

### (2) 見学者

- ・4月15日、小谷元子理研理事（広報担当）が仁科記念室と小サイクロトロンを視察。小林理事長と仁科記念室の理研和光事業所への移設について意見交換した。
- ・5月9日、政池明京大名誉教授の紹介で、NHKの番組制作スタッフの見学があった。
- ・5月20日、文京区教育委員会の第1陣の見学があった。7月23日、第2陣が見学。見学者の一人であった作家森まゆみ氏の訪問記「科学者たちの楽園」が8月19日の毎日新聞朝刊に掲載された。
- ・6月5日、文科省基礎研究振興課素粒子・原子核研究推進室の室長、加速器科学専門官、係長、3名が見学。
- ・7月27日、加藤和明 KEK 名誉教授の主宰する「愛夢の会」第1陣が見学。8月27日、第2陣が見学。矢野常務理事が協会会議室で、「理化学研究所と仁科芳雄先生」の講演を行った。加藤名誉教授の寄稿「稀代なるヒトタラシ仁科芳雄」が12月26日の原子力産業新聞に掲載された。
- ・8月1日、恒例の里庄中学生研修会があり、中学3年生9名がアイソトープ協会会議室で矢野常務理事の「仁科先生の偉業」についての話を聴いたあと、仁科記念室と小サイクロトロンモニュメントを見学。
- ・9月21日、「日本科学技術ジャーナリストの会」が見学。矢野常務理事が協会会議室で「理化学研究所と仁科芳雄博士」の講演を行った。参加した鴨志田公男筑波大学教授が寄稿した解説記事「ノーベル賞と仁科博士」が11月28日の毎日新聞朝刊に掲載された。
- ・10月29日、ノンフィクション作家で科学ジャーナリストの上山明博氏の見学があった。
- ・11月7日、NHKの水野倫之解説委員の見学があった。

### (3) 資料の整理

- ・7月11日、矢野常務理事、理研前広報室長、広報室長、安全管理部長の4名が、広島市原爆被害対策部と、仁科記念室で見つかった「サンプル（仁科先生がこのサンプルの放射化から新型爆弾は原爆であると判定した）」の取り扱いについて協議した。
- ・7月12日、矢野常務理事、理研前広報室長、広報室長、安全管理部長の4名が、広島平和記念資料館の館長他を訪ねて、仁科先生がもう一つの有力証拠とした「感光したレントゲンフィルム」について相談した。このレントゲンフィルム（間接撮影用を含む）は、2005年に故中根良平常務理事が仁科記念室で発見したものである。
- ・12月10日、富士フイルム（株）の技術陣から、仁科博士が被爆直後の広島で入手、現像して「黒くなった」レントゲンフィルム6枚を鑑定した結果、「大半が放射線による感光」に間違いのないとの報告を受けた。

- ・1月15日、広島市原爆被害対策部課長、同主事、広島平和記念資料館学芸員が、理研に来訪し、広報室長、前広報室長、安全管理部長、矢野常務理事と、仁科博士が原爆被害調査時に理研に送った「サンプル」の今後の取り扱いについて意見交換した。本件については、広島市長にも話を上げているということであった。

#### (4) 仁科記念室および小サイクロトロンモニュメントの移設について

- ・6月21日に、理研和光事業所長他と日本アイソトープ協会総務部との間で「小サイクロトロンと仁科記念室の入口扉、電気設備等の寄付」について第1回の打ち合わせがもたれた。
- ・8月27日、和光事業所長、広報室長が、アイソトープ協会専務理事、総務部長を訪問。協会物品（小サイクロトロンモニュメントを含む）の理研への寄付について具体的な詰めを行った。
- ・9月12日から、仁科記念室内の「古文書」「仁科記念文庫」の和光事業所への搬出が始まった。財団から理研への寄付物品の詳細な目録を理研史料室が作成した。
- ・(株)トプコンによる仁科記念室内部の3次元レーザー測量と写真撮影が行われた。トプコンは、これを「歴史的建造物のデジタルアーカイブズ」として利用するので、無償。データは、理研広報室と当財団に提供された。
- ・10月末までに、仁科記念室内に保存されていた、仁科博士の調度品、遺品、書籍、書簡等をすべて理研和光事業所内の史料室等に搬送した。入口扉、電灯、分電盤も取り外して搬送。スチーム暖房機等は、建物の解体時に取り外して搬送する。
- ・搬出に先立って、NHK広島支局が2日間、往時の調度品の配置で、室内を詳細に撮影した。

#### 4. 研究関連等の出版

- ・2019年度版仁科記念財団案内（2019年6月）を刊行した。
- ・レンタルサーバーを、WordPressアプリ（ホームページ編集が簡便）に対応した「さくらインターネット」に乗り換え、ホームページを全面リニューアルした。第1回（1955年）からの仁科記念賞推薦理由書、仁科記念講演録（NKZシリーズ）、仁科芳雄博士遺稿集「原子力と私」、広島・長崎原爆被害調査「仁科ノート」（自筆）、原著論文の一部を公開。

#### 5. 研究者の海外派遣・招聘

本財団は、若手研究者の海外派遣・招聘事業に替わる新たな支援事業として、平成24年度（2012年度）にアジアの若手研究者を鼓舞激励するNishina Asia Awardを創設した。

Nishina Asia Awardは、アジアに研究基盤をおいて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後15年以内）を毎年1名選考して、賞状と賞牌およ

び賞金 40 万円を仁科記念賞授賞式場で授与し、さらに授賞式の前後約 2 週間、わが国研究者との研究交流を助成するという事業で、これを研究者の海外派遣・招聘事業予算で実施する。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会（佐々木節委員長他 11 名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て 9 月初旬には受賞者に通知される。

第 7 回となる 2019 年 Nishina Asia Award の候補者募集要項を平成 31 年（2019 年）1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、15 件（中国 7 件、韓国 5 件、台湾 1 件、ベトナム 1 件、フィリピン 1）の推薦があった。選考委員会で慎重に選考した結果、中国籍の Chao-Yang Lu 氏（Professor of Physics, Hefei National Laboratory for Physical Science at Microscale, University of Science and Technology of China）に ”for his outstanding contributions to quantum information science with single photons” の業績に対し授賞することとした。受賞記事は、本財団ホームページと Association of Asia Pacific Physical Societies（AAPPS）の Bulletin に公開された。Lu 氏は 12 月 6 日に仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式に出席したほか、京大、阪大、NTT 基礎研究所、東大でセミナーを行った。

第 8 回 2020 年 Nishina Asia Award は、令和 2 年（2020 年）1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、14 件（中国 6 件、韓国 4 件、ベトナム 2 件、台湾 1 件、インド 1 件）の推薦があった。

## 6. 賛助会員および特別寄附

- ・本年度の賛助会員（1 口 20 万円）数は 7 法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社、住友重機械工業株式会社、日本電気株式会社、公益財団法人本田財団）、3 個人（1 口 1 万円）。
- ・公益社団法人日本アイソトープ協会から昨年度に続き特別寄附金 300 万円を頂戴した。用途を公益目的事業に限る「特定資産」に繰り込んだ。
- ・公益財団法人科学振興仁科財団（岡山県里庄町）から昨年度に続き特別寄附金 10 万円を頂戴し、「特定資産」に繰り込んだ。
- ・伊藤公孝理事から、2019 年 7 月 18 日に急逝された故伊藤早苗教授（元九州大学応用力学研究所教授、理事・副学長。1993 年度第 39 回仁科記念賞受賞）の遺贈として、5000 万円の特別寄附を頂戴した。小林誠理事長から「当財団の公益目的事業に謹んで使わせていただきます」旨、お礼状を差し上げ、「特定資産」に繰り込んだ。

## 7. 会議の開催

本年度に開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面および電磁的記録で決議した第 31 回理事会以外の開催場所はすべて日本アイソトープ協会会議室。

(1) 評議員会

1) 第9回(定時)

日時：令和元年6月10日 11:30~13:00

出席評議員：有本建男、佐藤勝彦、鈴木厚人、高橋真理子、廣田榮治、  
山崎敏光(会長)、吉田庄一郎

欠席評議員：川路紳路、郷通子、伊達宗行、田畑米穂

出席監事：荒船次郎、江澤洋

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事(オブザーバー)

議事：①平成30年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。②次期評議員として秋光純理事、江澤洋監事、京藤倫久元日本学術振興会監事、九後太一京都大学基礎物理学研究所特任教授、斎藤軍治京都大学名誉教授、山田作衛常務理事を新任、有本建男評議員、郷通子評議員、佐藤勝彦評議員、高橋真理子評議員、吉田庄一郎評議員を重任とすることが承認された。③次期理事として伊藤公孝運営諮問委員、梶田隆章運営諮問委員、十倉好紀運営諮問委委員、佐々木節東京大学カブリIPMU特任教授を新任、安藤恒也理事、家泰弘理事、勝村庸介理事、小林誠理事、永宮正治理事、藤川和男理事、矢野安重理事を重任とすることが承認された。④会計監査人として宮田芳直公認会計士を重任とすることが承認された。⑤役員等候補選定小委員会を廃止することが承認された。

2) 第5回 役員等候補選定小委員会

日時：令和元年6月10日 11:00~11:30

出席評議員：佐藤勝彦、鈴木厚人、山崎敏光(会長)

欠席評議員：郷通子、伊達宗行

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事(オブザーバー)

議事：①第28回理事会提案の新評議員、役員、会計監査人候補を第9回定時評議員会に推薦することが承認された。

(2) 理事会

1) 第28回

日時：令和元年5月20日 17:30~18:30

出席理事：秋光純、家泰弘、勝村庸介、小林誠、柴田徳思、鈴木増雄、永宮正治、  
藤川和男、矢野安重、山田作衛

欠席理事：安藤恒也

出席監事：荒船次郎、江澤洋

議事：①平成30年度事業報告書および決算書(案)が承認され、第9回定時評議員会に諮ることとした。②新評議員、役員等候補案が承認され、第5回役員等候補選定小委員会に諮ることとした。③第9回定時評議員会を令和1年6

月 10 日 11:30 より公益社団法人日本アイソトープ協会第 3 会議室にて開催することが承認された。議案は、1) 平成 30 年度事業報告書および決算書の承認、2) 新評議員、理事、監事、会計監査人の承認。3) 役員等候補選定小委員会の廃止。

## 2) 第 29 回

日時：令和元年 6 月 10 日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、勝村庸介、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、矢野安重

欠席理事：梶田隆章、藤川和男

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

議事：①小林誠理事を代表理事（理事長）とし、家泰弘理事、藤川和男理事、矢野安重理事を業務執行理事（常務理事）とすることが承認された。②矢野常務理事を常勤とし、理事長に事故あるときの理事長代行とすることが承認された。③運営諮問委員として磯暁高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所理論センター長、櫻井博儀東京大学大学院理学系研究科教授、永長直人東京大学大学院工学系研究科教授を新任、須藤靖、初田哲男、早野龍五前運営諮問委員を重任とし、早野龍五運営諮問委員を委員長とすることが承認された。④前顧問、前助言委員および委員長の重任が承認された。⑤山崎敏光前評議員会会長を客員運営諮問委員に新任し、前客員運営諮問委員を重任とすることが承認された。

## 3) 第 30 回

日時：令和元年 10 月 21 日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、伊藤公孝、小林誠、永宮正治、藤川和男、矢野安重

欠席理事：家泰弘、梶田隆章、勝村庸介、佐々木節、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

出席選考委員長：安藤恒也

報告：小林誠理事長、家泰弘常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事より、本年度上半期の業務執行状況報告があった。

議事：①安藤恒也仁科記念賞選考委員長より「令和 1 年度は 21 件の応募があり、慎重に審議した結果、①岩佐義宏 氏 東京大学大学院工学系研究科 教授：電界誘起 2 次元超伝導の発見、②吉田滋 氏 千葉大学大学院理学研究院 教授、石原安野 氏 千葉大学大学院理学研究院 教授：超高エネルギー宇宙ニュートリノの発見、の 2 件を授賞者としたい」旨報告があり、審議の結果、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程第 6 条第 2 項に従い、選考委員会提案通り令和 1 度仁科記念賞受賞者を決定した。

## 4) 第 31 回

今般の新型コロナウイルス感染拡大防止策として政府が要請している集会等の自粛に対応するため、当初、2020年3月27日に、東京都文京区本駒込二丁目28番45号公益社団法人日本アイソトープ協会第3会議室において開催を予定していた「第31回理事会」での議案を、定款第39条第2項に則り「理事および監事全員の書面または電磁的記録による同意の意思表示」で決議することとした。

日時：令和2年3月24日（理事、監事全員から「同意書」が届いた日）

理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、梶田隆章、勝村庸介、佐々木節、小林誠、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

監事：荒船次郎、鈴木増雄

報告：定款28条第4項に則り、小林誠理事長、家泰弘常務理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事から全理事および監事に対し、2019年10月21日に開催した第30回理事会以降の自己の職務執行状況については運営会議議事録を参照するようにとの書面による報告があった。

議事：①2020年度事業計画書および収支予算書案を承認した。②仁科記念賞賞金を現行の1件あたり50万円から60万円に増額することを承認した。③2020年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を877万5千円取り崩すことを承認した。④任期途中で退任した仁科アジア賞選考委員1名を補充するため、新たに1名を選考することが承認された⑤2020年4月1日から2022年3月末日までの次期仁科記念賞選考委員として、安藤恒也委員長ほか13名を重任とし、新たに1名を選任することが承認された。⑥理事長からの「2020年度の資金調達および設備投資の見込みはない」旨の報告が了承された。

### (3) 仁科記念賞選考委員会

#### 1) 第1回

日時：令和元年9月24日 17:00~21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

#### 2) 第2回

日時：令和元年10月15日 17:00~21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題；①令和元年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

### (4) Nishina Asia Award 選考委員会

#### 1) 第1回

日時：令和元年5月27日 17:00~20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員



出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第2回

日時：令和元年7月19日 17:00~20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題；①第7回2019年Nishina Asia Award受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：平成31年4月25日 17:30~19:30

出席委員：梶田隆章、須藤靖、早野龍五

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、安藤恒也、勝村庸介、永宮正治、藤川和男

出席監事：荒船次郎

評議員会：山崎敏光会長

議題：①平成30年度事業報告書（案）および収支決算書（案）について②次期評議員、役員、運営諮問委員について③2019年定例仁科講演会の大テーマについて

2) 第2回

日時：令和元年5月20日 18:30~19:30

出席委員：伊藤公孝、十倉好紀、須藤靖、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛常務理事、秋光純、家泰弘、勝村庸介、柴田徳思、永宮正治

出席監事：荒船次郎、江澤洋

評議員会：山崎敏光会長

議題：①2019年度仁科記念講演会のテーマについて。

3) 第3回

日時：令和元年6月10日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、永長直人

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、勝村庸介、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、江澤洋、山崎敏光

議題：①令和1年度定例仁科記念講演会の企画について②仁科記念室にある感光したレントゲンフィルム（仁科先生が新型爆弾は原爆であると判定したもう一つの有力証拠）を広島平和記念資料館に寄贈することについて

4) 第4回

日時：令和元年 7 月 12 日 17：30～19：30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、須藤靖、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：山田作衛

議題：①仁科記念室にある感光したレントゲンフィルム（仁科先生が新型爆弾は原爆であると判定したもう一つの有力証拠）を広島平和記念資料館に寄贈することについて

#### 5) 第 5 回

日時：令和元年 9 月 19 日 17：30～19：30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、勝村庸介、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、家正則、江澤洋、山崎敏光、山田作衛

議題：①2019 年仁科記念講演会（大栗博司 東大 IPMU 機構長「重力の条件」、高柳匡 京大基礎物理学研究所教授「量子ビットの幾何学から重力へ」(仮題)。12 月 6 日 15：00～17：30。東大理学部 1220 号室で開催)の進捗状況について②JSPS への異議も打ち立てへの今後の対応について③HP に掲載する 2006 年度以前の仁科記念賞授賞理由書（図版のクレジットを含む）について

#### 6) 第 6 回

日時：令和元年 10 月 21 日 18：00～19：30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：山崎敏光、山田作衛

議題：①来年度からの NAA 選考委員について

#### 7) 第 7 回

日時：令和元年 11 月 25 日 17：30～19：30

出席委員：早野龍五委員長、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：秋光純、山崎敏光、山田作衛

議題：①2020年度からのNAA選考委員の交代について②英文版「2019年度仁科記念賞授賞理由」について③次期仁科記念賞選考委員について

8) 第8回

日時：令和2年1月7日 17:30～18:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、勝村庸介、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：山崎敏光、江澤洋

議題：①次期仁科記念賞選考委員について②2020年NAA候補者推薦依頼状を送付するにあたって、1)授賞式を12月7日(月)とするか、2)推薦条件の学位取得後15年以内はどれほど厳密なものとするか、について③HPから(株)TOPCON制作のYouTube「仁科記念室3次元映像」を公開することについて④HPのいくつかについて(トップページの固定写真、仁科記念賞授賞理由書にある図の著作権の検閲、NKZシリーズをすべて公開するか、仁科記念講演会記録の公開、仁科博士の論文集と解説集の公開、「往復書簡集」の原文と新たに見つかった往復書簡の原文の公開、「原子力と私」「仁科ノート」「極秘情報」の公開)

9) 第9回

日時：令和2年2月25日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、永長直人

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、家泰弘、矢野安重常務理事、安藤恒也、梶田隆章、勝村庸介、十倉好紀

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：山崎敏光

議題：①令和2年度「事業計画書」「収支予算書」案について